

令和元年度第2回香美市障害者自立支援協議会会議録要旨

- 1 日 時 : 令和2年2月17日(月)午前10時00分から正午まで
- 2 場 所 : 香美市役所3階会議室1・2
- 3 出席者 : 秋友会長、弘末副会長
尾崎委員、岡本委員、濱田委員、西尾委員、福島委員
藤堂委員、氏原委員、高橋委員、芝野委員、岡崎委員
畑山委員、中山委員、山中委員、吉本委員、住友アドバイザー
- 4 欠席者 : 横川委員、石川委員、武田委員
- 5 傍聴者 : 5人

6 会議録要旨

(1) 相談支援部会における地域移行・定着支援勉強会の結果についての報告

部会長である岡本委員から資料に沿って説明がなされた。

- ・地域移行、定着支援サービスについての知識が大きく不足していることから、まずは、勉強会の目的、目標を設定した。
- ・今回の勉強会については、精神障害者のみを対象として学習を行った。
- ・学習していくなかで、当初イメージしていたものとは異なり、既存の手段でかなりのケースについて、地域移行支援を実施していることが分かった。地域移行に対する支援について、地域移行支援サービスを利用するかどうかは、ケースごとに判断していけばよいということとなった。
- ・実際に地域移行支援サービスの利用者が出てきたこともあり、課題としては、3つのものが浮かび上がってきた。一番の課題として、住居の確保があがってきた。この点については、その他の項目でも提案したい。

報告を受けて、地域移行支援サービスの課題や地域移行及び地域定着に向けての取り組みの紹介が行われた。

(2) 第6期香美市障害福祉計画・第2期障害児福祉計画の策定について

事務局より資料に沿って説明がなされた。

「障害児者への支援に対する事業等の啓発が重要である。」、「国や県の施策よりも、香美市としてどうして行くのか。」、「当事者の意見を聞く機会を設けるべき。」といった意見が出された。

(3) そのほか

(ア) 香美市地域生活支援事業について

事務局より資料に沿って説明がなされた。

- ・意思疎通支援事業、声の広報発行事業の利用が少ない状況にあり、活用をいただけるように対象の方へ紹介をいただきたい。
- ・香美市未施行の事業について取り組んでみたい事業所等がありましたら、相談を。
- ・資料のほかにも、都道府県が実施している又は実施できる事業がある。

自動車運転免許取得・改造助成事業、成年後見制度利用支援事業における対象者についての質疑がなされた。

(イ) 山田特別支援学校の進路状況について報告

芝野委員より、今年度卒業予定者の進路状況について報告がなされた。

- ・本年度の卒業予定者 33名
- ・企業就職（パート含む） 22名
- ・就労継続支援A型 2名
- ・就労継続支援B型 7名
- ・就労率は、昨年38%から42%に向上

(ウ) 定期障害特別支援学校のあり方についての意見の説明

芝野委員より、次のとおり説明がなされた。

- ・特別支援学校の設置場所は、高知市、南国市、香南市、香美市のいずれかが望ましい。
- ・設置学部について、まずは、中高等部の設置が望ましい。
- ・公共交通機関の利用が困難な生徒のために、スクールバスによる通学支援を行うこと。
- ・人数規模は、40名から50名の人数超過が続くことを前提に施設を整備すること。
- ・整備期間について、期限は示されなかったが、スピード感を持ってできるだけ早く整備することとされており、新築だけでなく、既存の施設を活用すること。

岡崎委員より香美市市内の小中学校の状況について説明があった。

(エ) 岡本委員会の提案

岡本委員から次の３点について、対策を進めいていただきたいとの提案がなされた。

- ・住居の確保に向けての具体的な対策
- ・休日に支援できるサービスの開発
- ・防災面、新型コロナウイルスといった非常時の対応や自助活動の推進

(オ) 身体障害者連盟の活動報告

福島委員よりパワーポイントのスライドを用いて、身体障害者連盟の活動報告がなされた。

- ・本年度に参加した各種大会についての紹介
- ・新事務所を楠目に開設した。
- ・香美市身体障害者連盟のスローガン「私たちのことを抜きに、私たちのことを決めないで」
- ・障害者を支援対象としてのみ捉えるのではなく、利用できるようにしたい。